



旧内田家住宅は、明治20年代
初めに現在の練馬区中村^{なかむら}に建てら
れた茅葺き屋根の古民家です。部材
の一部には江戸時代の古材も使われ
ています。

平成19年に解体し、平成22年3月
に、練馬区立石神井公園ふるさと
文化館の屋外展示施設として、現在
の場所に移築されました。整形四間
取りの主体部と、北西部に張り出す
角屋から構成されています。

ごく近年まで住宅として使用されて
おり、時代や生活の変化に応じて
間取りを変えたり改築を重ねたり
しながら、約130年のあいだ伝えら
れてきました。



きゅううちだけじゅうたく
旧内田家住宅
練馬区指定有形文化財